

# 井戸端 市民通信

月刊

読者のみなさんのページです。  
17ページに掲載している広報クイズの答えと一緒に、気ままなひとこと、ちょっと言いたいひとことを、お待ちしております。

## 読者の伝言板



- 暖かくなってきたので子どもたちと外で遊ぶことが多くなってきました。ポッカポカの春が待ち遠しいです(ひよたさん 34歳・土崎)
- 寒かったり暖かかったり。でも確かに春が近づいているんだなあ。わが家の鉢植えの福寿草が芽を出し少し色づいてきました。それも9本も。感激！(おしやれウサギさん 82歳・川元)
- 男鹿市から引越してきました。秋田は雪が多いですね。びっくりしました。男鹿は秋田より少ないです(原田三男さん 61歳・金足)
- 秋田に引越越してきて7か月になります。すごく仲良い人はまだいないので、子育てサークルに顔を出して仲の良い人ができるといいです(あかりんさん 将軍野)
- 生ごみで肥料づくりに取り組み2年目。何を植えようか試行錯誤、家庭菜園雑誌と首引きの昨今です。みなさんもごみの減量に取り組んでみませんか。花づくり、野菜づくりに最適です。環境とお財布に優しいエコを(K・Kさん 75歳・東通)
- 節水を心がけている今日このごろ。頭を使って段取りを考えながらキッチンに立っています(新屋夫人さん 35歳・新屋)
- 今はサンパル秋田にある青少年センターを、八橋にあったころから利用しています。昔は登山やスキー、カヌーの教室もあり、若いときにいろんな体験ができました。文化会館に移転しても利用したいです。広報あきた2月19日号のあきたノスタルジーではスキー人口の多さに驚きました。また増えてほしいですね、スキー愛好者(さくらさん 33歳・外旭川)
- 受験勉強で、大好きな読書も我慢しています。無事に希望校に合格できたら思い切り本を読みたいです(あーちゃん 15歳・新屋)
- 息子が小学校に入学して1年が過ぎようとしています。頼りなかつたランドセル姿も今では頼もしくなりました。学校の先生、地域のみなさま

## 地域の話 おしえて!!

### 新屋でアートイベント「参画ケイカン」 つながりで進む まちづくり

新屋表町のまちづくり活動を行っている、NPO法人新屋参画屋。国土交通省の地域景観づくり緊急支援事業を活用し、これまでの取り組みを空き店舗で紹介するイベント「参画行事」を企画しました。この企画に参画屋メンバーの知人たちが賛同し、「新コラボ屋(古道具屋や喫茶店、ギャラリーなど)」「ハイブリット2(美術工芸短大・美短附属高等学院の教員などの作品展示)」といったイベントを計画、3つ合わせて「参画ケイカン」と題して、2月19日から28日まで表町通り全体を会場に開催しました。

新屋参画屋理事の石田敬太郎さんは「参画屋を知らないかたに存在を知ってもらいたい機会になりました」と、今後の活動にはずみがついたよう。住民主体のまちづくりが着々と進んでいます。



新屋の景観をライトアップする活動も紹介(旧くすりのさきで)



「ハイブリット2」は町家(渡邊幸四郎さん所有)を清掃・補修して会場にしました



# おしゃべりかわらばん



計画哲学研究所所長の三輪真之さんを講師に迎え、2月24日に開催した秋田市民憲章まちづくり講演会。会場のイヤタカでは「まちづくりに大切なもの」などをテーマに話す三輪さんの言葉を熱心に聞く姿が見られました。



## 人と人の信頼が大事

講師の笹尾千草さんの「信頼関係が豊かな場を作る」という言葉が心に残りました。私は絵画や絵本などの創作活動をしています、人と人のつながりを広げられる、良い影響力を持つ作品を作りたいです。

アルヴェの市民活動なんでも講座に参加した渡部哲也さん(千秋)

## 一緒に頑張ろうね

そろそろ離乳食を始めようかなと思って参加しました。育児書を読むだけでは分からない離乳食の固さを試食で実際に確認できて良かったです。爽くん、頑張っているから、好き嫌いしないで頑張って食べてね!



保健所の離乳食教室に参加した高橋純子さんと爽くん(仁井田)



## 昔のにぎわいを想う

芸者がいた時代など、川反の歴史を楽しく聞きました。大町に住んで5年になりますが、川反はどんどん寂しくなっていくなあ、と感じています。難しいと思いますが昔のにぎわいが戻ればいいですね。

中央公民館地域別学習講座「川反今昔」を受講した高見直理さん(大町)

## 素晴らしい自然を守る

春が近づき、私たちの清掃活動もいよいよ本格始動。ごみを拾いながら登るのはたいへんですが、仲間たちと気持ちを一つにして頑張っています。小さな努力かもしれませんが、これからも積み上げていきます。



太平山などを清掃している秋田清掃登山副代表の田内宏明さん(濁川)

## 習ってみるものですね

今まで自己流で料理していたので一度きちんと習いたいと思い受講しました。いり卵は、鍋で作るときれいにできるなんて知りませんでした。いちご大福がうまくできたので今度孫たちに作ってあげたいです。



東部公民館のひな祭り料理教室を受講した田安美枝子さん(手形)

に温かく見守っていただいたことに感謝しています。これからも息子と共に成長できるような努力していきたいです(春の小川さん 39歳・高陽) ●孫娘が小学校を卒業しました。6年間あつという間でした。3年生からスポーツ少年団に入り、よく泣いて帰ってきたものです。それでも頑張りました。そのごほうびに卒業式が終わったら旅行に連れて行こうと予定しています。春もそこまで来ています。これから少しずつ暖かくなつてきます(ブータンさん 57歳・飯島)

## 係からひとこと

3月20日は待ちに待った大森山動物園のオープンです。市役所職員が私たちが飼育員さんたちによるアイデア満載の展示が面白いですよ。

そして冬の閉園中に長崎からカピバラのサツキとマツ、ミアキヤットのナーガとサキが動物園の仲間になりました。そのかわいさは動物園のホームページで見ることができませんが、やはり直接見に行きましょう! 私もみなさんの笑顔が力になります。私に取って行きますので、広報の腕章をした姿を見かけたなら最高の笑顔をお願いします。(直樹)



## 福祉に役立ててほしいと寄付

2月18日、(社)日本バーテンダー協会秋田支部から、チャリティーカクテルパーティーの売り上げの一部が寄付されました。寄付金は、市内民間団体の福祉活動を支援する、ふれあい福祉基金に組み入れます。



## 日本赤十字社からAED2台寄贈

日本赤十字社秋田県支部が、AED(※)を御所野交流センターとセリオンに設置してくれました。ありがとうございました。

※自動体外式除細動器。突然の心停止の際、電気ショックを与えます。

御所野交流センター